



片田さおり先生
「日本の地経学戦略」
コメント

RIETI BBLセミナー

2022年7月14日

フェリス女学院大学 杉之原真子

『日本の地経学戦略』

- 国際政治経済における広範な分野についての詳細な政策、意思決定過程の分析に基づいて、「大きな絵」を描いた意欲作
- 日本外交にかかわる従来の受け身なイメージを転換
 - 「公共財としての制度の構築」を目指す日本
- 加えて国内制度による制約も分析
 - 政府内の制度
 - 政府と企業の関係

「リベラル戦略」決定の主体と仕組み

- 「日本の地経学戦略」と言う場合の「日本」は何を指すのか？
 - 小泉、安倍の長期政権とそれ以外の政権
 - 経産省・財務省・外務省の役割
- リベラルな国際秩序の根底にある価値観は、政府内や政治的リーダーに深く根付いたものか、レトリックか？
 - リベラルな経済秩序と民主主義の関係は？
 - Cf.インド、韓国への対応

「リベラル戦略」と日本の「国益」

- 対外投資国、GVCの一員としての日本
 - 投資分野のルール整備に利益
 - 貿易分野では依然残る農業への保護
- デジタル化やグリーン化では遅れ、エネルギー分野では大きな制約
 - これらの分野のルール整備にどのような利益を有するか
- 「リベラル戦略」は狭い意味での日本の安全保障に貢献するのか？
 - 経済安全保障の文脈

今後の地経学戦略

- 産業政策の再興
- 「経済の武器化」

→ 「リベラル戦略」と両立するか？

- 米中デカップリング論と「リベラル戦略」の関係